



# 出雲市立大社小学校 地域学校運営理事会だより

大社小学校地域学校運営理事会 平成28年7月14日発行

## 「しつけ」に三つの鉄則

理事長 山崎 隆司

本年度第1回地域学校運営理事会を、去る5月11日（水）に開き、校長先生から提案された、一人一人を大切にしたい明るく活力のある学校づくり、地域との連携を深め、明るく活力のある職場づくりを目指すという学校経営方針を了承しました。

コミュニティスクールの支えとしての学校応援隊は、杵築・日御碕・鵜鷺の全戸に募集要項に応募用紙を添えて配布し、有線放送をも通して、ただ今募集中ですので、応募のほどを宜しくお願ひします。今年度は新しく地域コーディネーターとしての役割を、大谷敏江先生にさせていただくことになりましたので、応援隊の活動が、よりスムーズに効果的に展開できるものと期待しています。

さて、地域と家庭と学校が協力して、健全な児童の育成にかかわっていかうという趣旨で発足した地域学校運営理事会は、満10年を迎え、重要性を増してきています。前述の「家庭」における「しつけ」が、クローズアップされる出来事がありました。連日報道されました、両親が子供を「しつけとして林道に置き去りにした」という出来事です。

この両親の「しつけ」のあり方を知って、私はかつて読んだ本・『幼児期に学力の土台を』（岸本裕史著）の中にあつた「しつけの三つの鉄則」を思い出しました。元小学校教員の岸本先生は、その三つの鉄則を「1. 無限の愛情をたたえ、優しさとはほほえみをもってしつけていく。2. 子供自身にやらせる。3. 三か月間は必ず継続して言い続ける。」としています。特に強調されるのは、第3の鉄則、「しつけは毎日、三か月間、しつづけなければ身に付かない」ということです。それは大脳細胞の成長にかかわることだからとされています。林道にただ1回置き去りにする、優しさの欠けた行為は「しつけ」にはならないこととなります。

言うが易くて成しがたい鉄則ではありますが、このたびの出来事で、改めてこの「三つの鉄則」を心に刻んだことでした。

### ★平成28年度の地域学校運営理事会メンバー（敬称略）

理事長	山崎 隆司	学識経験者	理事	野田 清	大社幼稚園園長
副理事長	原 孝	大社コミュニティセンター長		古川 康子	P T A 副会長
	矢田 和則	P T A 会長		松本 俊憲	杵築自治協会理事
理事	岡村 邦之	少年補導委員	学校	矢利 安雄	日御碕自治協会会長
	蒲生 千登	日御碕コミュニティセンター長			
	須佐 公和	主任児童委員		成相 有一	校長
	田中 積夫	鵜鷺自治協会会長		園山 暢男	教頭
	田中 秀昭	鵜鷺コミュニティセンター長		森山 英夫	教諭（教務主任）
	中尾 克行	民生児童委員		原 平	主事

## ★地域学校運営理事会の概要

### 第1回 5月11日(水)開催

議事 ①学校経営方針について ②学校予算について ③今年度の計画について  
④大社小学校応援隊について ⑤その他

- ・校長から示された学校経営方針について意見交換が行われ、了承されました。
- ・「大社小学校応援隊」のコーディネーターとして、大谷敏江さんに受けていただき、学校と地域の連携をお願いすることになりました。大谷さんは特別支援教育補助者として本校で長年お勤めいただいています。

## ★大社小学校応援隊の活動から

昨年度から「大社小学校応援隊」という名前で、校区内の皆様にお知らせと協力をお願いするプリントを配布しましたところ、3つのコミュニティセンターと53名の皆様に登録をしていただきました。教育活動への関心を寄せていただいていますことに感謝申し上げます。

1学期は、各学年の活動に対しまして、多くの皆様にご協力をいただき、子どもたちの活動を応援することができました。ありがとうございます。今後も、地域・家庭・学校が連携し、一体となって子どもの健やかな成長を支える取組を応援していきたいと考えております。

今後も、「大社小学校応援隊」の活動へのご協力をよろしくお願い致します。

(主な支援内容)

- 学習支援(丸つけ、九九検定、平和学習、リコーダー指導、調理・裁縫等)
- 安全指導(自転車の乗り方、交通安全指導、防犯教室等)
- 環境整備(花の苗作り、水やり、校地内の美化活動等)
- 読み聞かせ      ○引率補助      ○郷土学習講師



町探検(出雲大社)講師



町探検(鵜鷺・八千代川)講師



裁縫



防犯教室